

平成28年度

第2回 学校評議員会の実施報告書

岐阜県立羽島特別支援学校

校長 出口 和宏

所在地 羽島市正木町大浦230-1 TEL 058-392-8181

1 会議の名称 岐阜県立羽島特別支援学校評議員会

2 会議の構成

委員（五十音順・敬称略）

味岡 巖	大浦区長
臼井 麻紗杜	日本ウエストーン株式会社
川合 宗次	岐阜羽島ボランティア協会 事務局長
安田 千恵美	正木町子供会代表
一柳 聡子	P T A代表

学校職員

出口 和宏	校長
古池 浩	教頭
小林 慎一郎	事務長
後藤 睦子	小学部主事
鷺野 恵一	中学部主事
上浦 清彦	高等部主事
井川 匡	教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成28年12月11日（日）
午後2時30分～午後3時30分
場 所：羽島特別支援学校 会議室
出席者：委員2人 学校職員8人

5 会議の概要 （1）校長挨拶
（2）学校祭について

- (3) 今年度の教育活動について
 - 学校だよりより
 - 卒業後の進路について（中学部・高等部）
- (4) 生徒及び保護者を対象としたアンケートについて
- (5) 平成29年度に向けて
- (6) ご意見等

6 会議の内容

○校長挨拶（略）

○学校祭について

委員1 広い学校であるが、案内等整理されていて見やすいと感じた学校祭であった。

委員2 想像以上、期待以上の学校祭であり、感動した。

○今年度の教育活動について

「学校だより」より次の項目について紹介

- ・後期児童生徒会選挙（主権者教育）
- ・絵画贈呈
- ・宿泊学習（小学部・中学部）
- ・就業体験・校内作業実習
- ・修学旅行（小学部・中学部）
- ・非常災害時における学校開放に関する覚書の締結
- ・部活動の活動状況

卒業後の進路について

- ・中学部…中学部3年生8名とも当校高等部に進学予定
- ・高等部…高等部3年生12名のうち、就労支援A型に1名、B型に2名、就労移行支援に2名、生活介護に7名、進路先が決定しつつある。

○生徒及び保護者を対象としたアンケートについて（略）

○平成29年度に向けて

- ・特別非常勤講師や作業療法士といった専門家との連携を増やしていきたい。
- ・人数の増加や重複障がい学級が増えることにより、教室配置の見直しが必要である。
- ・初任者への対応を含め、専門性の向上に引き続き取り組んでいく。
- ・指定避難所としてのもしもの時に備えていきたい。

○評議について（意見及び感想）

委員1 「ファミリーホーム」が正木町に4月1日にオープンする予定であり、3名ほど入所する予定である。0歳から18歳まで発達障がいをもつ子等を対象としている。今後、羽島特別支援学校に転入する子も出てくると思われるので、連携していけるとよい。
羽島ボランティア協会の施設も福祉避難所になっているところはあるが、制度的にもまだ整備されていないと感じる。今後、備蓄食品も準備が大変である。

- 教頭 指定避難所になったことをきっかけに、地域の方とも連携していきたい。
- 委員 2 体育館に300人入るとのことであるが、保護者としては、当然自分の子どもは避難できると考えている。市から備蓄品の提供がないと困る。
- 教頭 毛布や非常食は備蓄品として提供を受けていく方向である。現在児童生徒それぞれに、備蓄品を持ってきていただいている。
- 指定避難所や正木町にできるファミリーホームについては、支援センターや各部主事を中心に対応していく。今回頂いた意見をもとに考えていきたい。

○まとめ

来年度は142名を予定しており、思っていたよりも児童生徒が増えるペースは鈍いようである。来年度も目が十分に届く良い環境の中で、教育活動を行っていきたい。